

画像強調機能で微小な病変の観察に適した高画質な画像を提供

LED 光源搭載の新内視鏡システム「ELUXEO(エルクセオ)」

簡単な装着でスムーズな検査を実現するワンステップコネクター採用の専用スコープ 6 種も同時発売

● 新発売 ●

2020 年 6 月 1 日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、臓器の粘膜表層の微細な血管や構造などを強調して表示する機能「BLI※¹」や、画像の赤色領域のわずかな色の違いを強調する機能「LCI※²」などの画像強調機能を用いて、炎症の診断や微小な病変の発見をサポートする 4 色の LED 光源搭載の内視鏡システム「ELUXEO(エルクセオ)」を富士フイルムメディカル株式会社(社長:新延 晶雄)を通じて本日より発売します。なお、簡単に装着でき洗浄にも便利なワンステップコネクターを採用した 6 種類の専用スコープも同時に発売いたします。

当社は 2012 年にレーザー光源搭載の内視鏡システム「LASEREO(レザリオ)」を発売しました。LASEREO は、波長の異なる 2 種類の光を用いた「BLI」や「LCI」などの画像強調機能を初めて搭載したシステムとして、発売以来、特に早期がんの特徴的な粘膜表層の微細血管などの変化の観察で、医療機関から高い評価を得ています。

今回発売する LED 光源搭載の内視鏡システム「ELUXEO」は、4 色の LED 照明の発光強度を高精度に制御して、白色光と短波長狭帯域光を生成することができます。照射した光と画像処理を組み合わせる「マルチライトテクノロジー」により、粘膜表層の微細な血管や構造を強調するなど、目的に応じた観察画像を作り出すことが可能で、「LASEREO」と同等のコントラストの高い高画質な画像を提供します。専用スコープとの接続には、光源装置に簡単に着脱でき洗浄機へのセットも容易なワンステップコネクターを採用し、検査の準備がスムーズに行えます。さらに、スコープコネクターと光源装置のインターフェースには、電気接点を使わずに映像データの転送と電力の供給を行う無接点技術を採用。この技術により、スコープの耐久性と信頼性の向上が期待されます。「ELUXEO」と同時発売する ELUXEO 専用の上部消化管用・下部消化管用スコープ各 3 種は、LASEREO 用スコープで好評いただいている操作部を採用しており、グリップの把持性、アングルつまみの操作性、ボタンの押しやすさに配慮した設計とし、スムーズな検査をサポートします。なお、ELUXEO はキセノン光源対応の内視鏡システム「Advancia(アドバンス)」用スコープの 500・600 システム用スコープにも対応しており※³、既存スコープを引き続きご利用いただけます。



LED 搭載内視鏡システム「ELUXEO」

上段: プロセッサ、下段: 光源装置



6 種類のスコープを同時発売する。

スコープ共通の操作部はグリップの把持性、アングルつまみの操作性、ボタンの押しやすさをサポートする。

富士フイルムは、今後もさまざまな医療現場のニーズに応え、検査の効率化と医療の質の向上、人々の健康維持増進に貢献していきます。

※1:「Blue Light Imaging」および「Blue LASER Imaging」の略。

※2:「Linked Color Imaging」の略。

※3:500・600 システム用スコープで利用できる特殊光観察は分光画像処理機能「FICE (Flexible spectral Imaging Color Enhancement)」のみです。

記

1.品名

ELUXEO7000 システム

プロセッサー

販売名:プロセッサー VP-7000 届出番号:14B1X10022A0V014

光源装置

販売名:光源装置 BL-7000 認証番号:227AABZX00041000

上部消化管用経鼻スコープ

販売名:電子内視鏡 EG-740N 認証番号:229AABZX00122000

上部消化管用汎用スコープ

販売名:電子内視鏡 EG-760R 認証番号:227AABZX00053000

上部消化管用拡大スコープ

販売名:電子内視鏡 EG-760Z 認証番号:227AABZX00042000

下部消化管用汎用スコープ

販売名:電子内視鏡 EC-760R-V/M 認証番号:227AABZX00061000

下部消化管用細径スコープ

販売名:電子内視鏡 EC-760P-V/M 認証番号:230AABZX00005000

下部消化管用細径拡大スコープ

販売名:電子内視鏡 EC-760ZP-V/M 認証番号:227AABZX00039000

2.発売日

2020 年 6 月 1 日

3.主な特長

(1)4 色の LED 光源搭載。「マルチライトテクノロジー」により、微小な病変の観察をサポート

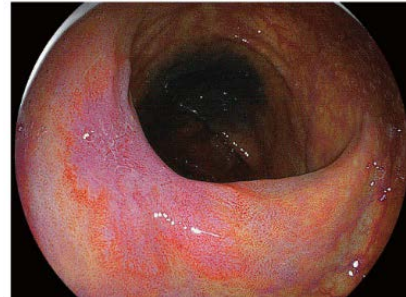
4 つの LED 照明の発光強度比を高精度に制御して、白色光と短波長狭帯域光を生成し、画像処理を組み合わせることで、目的に応じた画像を作り出す技術「マルチライトテクノロジー」を採用。粘膜表層の微細な血管や粘膜の微細な構造などを強調して表示する機能「BLI」や、画像の赤色領域のわずかな色の違いを強調して表示する機能「LCI」により、炎症の診断や微小な病変の観察をサポートします。



白色光画像



BLI (Blue Light Imaging) 観察



LCI (Linked Color Imaging) 観察

(2)映像データの転送と、電力の供給に無接点技術を採用

スコープコネクターと光源装置のインターフェースに、電気接点を使わずに、映像データを光通信方式で転送し、また電力を電磁誘導方式で供給する無接点技術を採用。スコープの耐久性と信頼性の向上が期待されます。

(3)ワンステップの簡単な操作で装着できる専用スコープ 6 種類をラインアップ

本システムの専用スコープは、上部消化管用・下部消化管用各 3 種。光源への接続が簡便なワンステップコネクターを採用しており、簡単に着脱できるため、検査の準備がスムーズに行えます。また、医師の手技を徹底的に分析し、グリップ把持性、アングルつまみ操作性、ボタンの押しやすさに配慮した設計とし、スムーズな検査をサポートします。



本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係 富士フイルム株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-6271-2000

お客様 富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 マーケティング部

TEL:03-6419-8033